

社会保障の全世代対応型への転換？ 幼児教育・保育の無償化など

千葉県地方自治研究センターは一般社団法人として発足して本年 10 周年を迎えることになり、当センターではこれを記念した講演会を開催することにいたしました。

講師には澤井勝先生（奈良女子大名誉教授）をお願いしました。澤井先生は地方自治総合研究所の研究員を創成期からお勤めになりました。全国の自治体を訪問して分かりやすい言葉で財政分析の講座を開き、行政の中だけにあった地方財政の現状を市民、労働組合の側から研究することにより、「地方自治を住民の手に」のスローガンを実践してきました。地方自治総合研究所の研究員を退任した後九州や奈良の地で教鞭をとりながら、地方自治の研究を市民サイドから支えてきま

した。

地方自治の研究課題も多岐にわたり、最近は大阪都構想を市民の側から批判し、地方自治が危機に瀕していること、また、分権改革の現状の分析から社会保障や福祉政策のあるべき姿について研究して発言をしています。

先生は全国の地方自治研究センターへの支援をライフワークにして、奈良地方自治研究センター、大阪市政調査会などで代表をつとめており、地方自治研究センターの記念講演会の講師にふさわしく、地方自治にかかわる会員、関係者の皆様にとって有益な時間を過ごせるものと確信しています。皆様のご参加をお待ちしています。

★ お申込は自治研センターへ 電話 043-225-0020

FAX 043-225-0021

☆ 10月25日（金）までにお申し込み下さい

結成 10 周年 記念講演会のご案内

●日時：2019年11月9日（土）

14時30分～16時30分

●会場：オークラ千葉ホテル

<講演 講師紹介>

澤井 勝 氏

(さわい まさる)

奈良女子大学名誉教授



専攻 地方財政論、地方自治論、生活福祉論

<略歴> 1942年2月、東京都大田区蒲田生まれ。東京大学大学院経済学研究科博士課程を終了後、1973年～1993年まで、地方自治総合研究所の研究員として活躍。その後、北九州大学法学部教授（公共政策論）、奈良女子大学生活環境学部教授（生活福祉論）として、教鞭を執る。2005年3月、奈良女子大学を停年で退官。

<主な著書> 『現代の地方財政』（共著）有斐閣、1992年、『市場・公共・人間』（共著）第一書林、1992年、『変動期の地方財政』敬文堂、1993年など。

●主催：千葉県地方自治研究センター